

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所 ポラリス☆キッズ			
○保護者評価実施期間	R7年 11月 1日 ~ R7年 11月 20日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数)	15
○従業者評価実施期間	R7年 10月 25日 ~ R7年 11月 20日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 12月 12日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員全体がより良い支援についてをしっかりとと考え、その為にはどうすればいいかを見出し合えること	普段から気軽に意見が出し合えるような環境、関係性作りを心がけています。 職員会議では職員からの意見や提案を積極的に取り入れ、日々の支援に生かしています。	今後も職員間のコミュニケーションを大事にしていきたいと思います。
2	ゆとりのある人員配置、様々な福祉現場で経験を積んだ有資格の職員が多いところ	利用者10人に対して6名～7名の職員を配置しているので、1人ひとりとしっかり向き合い関わることができます。	外部研修への積極的な参加や、内部研修や勉強会などの実施で更なるスキルアップを目指します。
3	音楽療法士による音楽療法を週に1回行っていること	・普段、出会えないような珍しい楽器に触れる機会を設けています。 ・癒し効果や心身の発達、心の安定につながるような活動を心がけています。	今後も子どもたちの五感をたっぷり刺激できるような活動をしていきたいと思います。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や地域のこどもたちと接する機会がないこと。	併行利用先と電話での情報共有はしておりますが、こども同士の交流となると、行事やプログラムの関係でなかなか日程を合わせられなかったり、大人数が苦手なお子さんも多いため、まだ実施できておりません。	お互いに忙しさにからむけて、密な関係性は築けていないので、そのあたりにも力を入れられるような職員体制がとれるようになることです。また、難しさを感じている点も多いので、市町村からの助言をいただきたいと思います。
2	・保護者様同士やきょうだい同士が交流する機会がないこと。 ・支援の様子を見ていただく機会がないこと。	コロナ禍以降、制限も増えご家族参加の行事の開催ができておりません。	他事業所も含めた全体行事は難しいかもしれません、親子遠足など交流できるイベントを検討していけたらと思います。
3	地域に開かれた事業運営ができていないこと。	以前は会社全体の夏祭りを開催しており、地域のお子さんなども参加できましたが、コロナ禍以降開催しておりません。	事業所だけで地域の方との交流となると具体的にどのように進めたらよいのか難しさを感じるので市町村からの助言をいただきたいと思います。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童発達支援事業所 ポラリス☆キッズ							公表日	R7年 12月 25日
		利用児童数	24名				回収数	15	
	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	1		1	・他所との比較をしないので分からない ・見ていないのでなんとも言えない ・屋上やテラスもあり十分なスペースが確保されていると思います	ご意見ありがとうございます。 参観等はまだ実施てきておりませんが、見学は可能ででのご連絡いただけたらと思います。		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	13	1		1	・実際のところを見ていないので分からない	ご意見ありがとうございます。 1人ひとりとじっくり関わることができるよう多めに配置をしております。		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	1		1				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14			1				
適切な支援の提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15							
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っているだと思いますか。	15							
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15				・計画を作成するにあたってしっかりと面談を行い、話し合う時間が設けられているので助かります。	ご意見ありがとうございます。 今後も子どもと保護者さまと職員全員の想いがつまった個別支援計画を作成できたらと思います。		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15							
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15							
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15				・季節に合った制作や活動内容、また子どもが楽しめるあそびを考えてくださっています。	ご意見ありがとうございます。 子どもたちが楽しい！と思えることを1番にプログラムを考えています。今後もワクワクすることたくさん考えていきたいです。		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	7	1		7		現在、こども園や幼稚園との交流はできておりません。実現に向け、市町村などからの助言をいただきたいと思います。		
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15							
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15							
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	3		5		積極的に研修案内等の情報提供を行っていきたいと思います。		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができると思っていますか。	14			1	・連絡帳を通してだけでなく送迎時も必ず1日の様子を伝えてくださるので安心しています。	ご意見ありがとうございます。 限られた時間ではありますが送迎時の保護者様との時間を大切にしております。		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15							
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15							
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	4		7		コロナ禍以降、茶話会などのイベントが行われておりませんが、親子遠足や参觀などでの交流を目指しています。		
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	1		3		お困りごとや相談等がございましたらお気軽にお知らせください。		

	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15					
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	12	1		2		
	22 個人情報の扱いに十分に留意されていると思いますか。	15					
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	1		1		各種マニュアルを作成し、年度末には職員会議で見直しを行っています。保護者様よりご要望があれば開示させていただきます。
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13			2		
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15					
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14			1	・起きていないので分からない	ご意見ありがとうございます。 何もないことが1番ですが、発生した場合は報告をさせていただくと共に、ヒヤリハットの記入を行い職員間で共有し、再発防止に努めています。
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	15				・丁寧に関わっていたり子どもも安心して自分を出していると思います。	ご意見ありがとうございます。今後も子ども達が安心して通える事業所作りをしています。
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	15					
	29 事業所の支援に満足していますか。	15				・何が出来て、何につづいたのか先生方が見守りながら必要な時に手助けをして下さっているおかげでのびのびと過ごし、少しづつ成長を感じています。いつもありがとうございます。	ご意見ありがとうございます。子ども達の未来を想像しながらより良い支援ができるよう職員一同努めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援事業所 ボラリス☆キッズ
------	--------------------

公表日 R7年 12月 25日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	4	・お部屋は1つですが、屋上やウッドデッキなどあそぶスペースがあります。お部屋だけで狭いと感じる時は2つに分かれて過ごしています。	・10人利用の日は部屋の広さに対して少し窮屈に感じる、歩行器等をお部屋で使えるスペースがほしいとの意見がありますが現実的には厳しい、今あるスペースで工夫しながら過ごしたいと思います。
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	2	基本多めに配置をしているので、手厚くしっかり見られるので良いと職員からの意見があります。	ゆとりを持って子ども達と接することができるよう、今後も可能であるかぎり多めの配置をしてみたいと思います。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	3	視覚支援も取り入れながら、子どもが分かりやすい環境作りを心がけています。手洗い場やトイレが大人用ではありますが、ステップを使用し対応しています。	今後も子ども達が過ごしやすい環境作りを工夫しながら考えていきたいと思います。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	3	建物内の他事業所の清掃が入っています。それとは別に日課としてトイレ掃除、床掃除、ロッカーや机、椅子などの消毒を行ったり、使った物はすぐに片付けするよう常に心がけています。	心地よく過ごせるよう、清掃時間をしっかりと確保できるような勤務体制、役割分担をしていきます。
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	6	部屋は1つですがパーテーションで区切ったり、お部屋にいるのがしんどくなったらテラスや事務所でクールダウンをしています。	・クールダウンのためのスペース、熱が出た時などの待機場所、午睡時に眠れない子どもが過ごすお部屋がほしい等の意見がありますがこちらも現実的に厳しく、事務所で過ごすなど対応します。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	1	年度末に振り返り、目標設定を行っています。	今後も継続していきます
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	2	ご意見をいただいたことについて職員間で改善に向けての話し合いを行っています。	今後も継続していきます
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		職員会議時はもちろん、日々の会話の中でも意見交換を積極的に行い、業務改善につなげています。	今以上に気軽に意見が言えるような関係性を目指し、職員同士のコミュニケーションを大事にしていきたいと思います。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	6		現在、外部評価はおこなっておりませんが、改善点などを明確にするためにも機会があれば取り入れたいです。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	1	内部研修の他、外部研修の情報収集も積極的に行っています。	今後も継続していきます
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10		適切に支援プログラムの作成、ホームページ上にて公表を行っています。	今後も継続していきます
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10		6ヶ月に1回面談を行い計画を立てています。	今後も継続していきます
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10		ケース会議を行った上で本案を作成しております。	共通理解はできているが、さらに深められるよう検討できる時間を増やせたらと思います。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10		職員会議で支援内容の共有をしています。	今後も継続していきます
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	1	提出していただいた発達検査等の結果やフェイスシート、日常場面での行動観察や聞き取りによるアセスメントを使用し確認しております。	今後も継続していきます
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	1		地域支援、地域連携の部分に難しさを感じているので、さらに知識を深めたいと思います。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	1	正規職員で相談し、活動プログラムを考えています。その他の職員の意見も積極的に取り入れています。	今後も継続していきます
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10		基本、正規職員やリーダーが企画をしていますが、その他職員もこれをしてみたいなど意見を出してくれるのを取り入れています。	今後も継続していきます

	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	2	適切に行ってています。	今後も継続していきます
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	1	正規職員で支援内容を打合せしたうえで、朝から出勤の職員には口頭で伝え、途中から出勤の職員にも分かるよう本日の予定表に記入しています。	特に役割分担はしていませんが必要に応じてしていきたいと思います。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	3	正規職員はサービス終了後に振り返りを行っています。パートさんへの共有はSNSを活用しています。	今後も継続していきます
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	1	適切に行ってています。	今後も継続していきます
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10		適切に行ってています。	今後も継続していきます
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10		児童発達支援管理責任者だけでなく、直接支援を行っている保育士、児童指導員も出席しています。	今後も継続していきます
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10		利用開始時や年度初めに併用園等にご連絡し連携体制を整えております。	今後も継続していきます
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10		見学に来ていたいたり、こちらから見学に伺ったり、それが叶わない場合には電話や文書にて情報共有を行っております。	今後も継続していきます
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	3	必要に応じて電話での連絡や児童連絡票の送付をさせていただいております。	今後も継続していきます
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るために、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8	2	西部療育センターから理学療法士さんに来てもらったり、対応に困った時等はお電話で助言をいただいている。	今後も積極的に情報共有ができるたらと思います。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		10	公園等で地域のお子さんや近所の託児所のお子さんと接することが数回ある程度で交流は行ったことがないです。	実現に向け市町村などからの助言をいただきたいと思います。
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10		送迎時や連絡帳、LINEのメッセージやお電話で伝えあっています。普段から保護者様が話しやすい雰囲気作りを心がけています。	今後も継続していきます
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援ブログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	8	ご家族向けの研修案内があった際は配布しております。	積極的に研修案内などの情報提供を行っていきたいと思います。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10		契約時に説明を行っています。	今後も継続していきます
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10		面談にてご家族の意向を伺っています。	今後も継続していきます
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10		説明し同意をいただいている。	今後も継続していきます
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10		送迎時や連絡帳の他、必要に応じて電話や面談でやり取りをさせていただいている。	もっと気軽に相談していただけるよう、保護者さまとのコミュニケーションを大事にしていきたいと思います。

保護者への説明等	39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	9	保護者様同士やきょうだい同士が交流する場は現在は設けられていません。	親子遠足や保護者会などが実現できたらと思います。
	40 こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10		適切に対応しております。	今後も継続していきます
	41 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10		毎月、園だよりを発行しています。	HPやSNSでの発信を目指していますが実現できています。
	42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10		職員は入職時、契約更新時に個人情報取り扱いについての規則の確認を行っています。	今後も継続していきます
	43 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10		お手紙配布の他、SNSの活用を行っています。	今後も継続していきます
	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	6	コロナ禍以降、地域との交流はできておりません。	進め方に難しさを感じています。市町村等からの助言をいただきたいと思います。
非常時等の対応	45 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	1	各種マニュアルを策定し、訓練や研修を行っています。また訓練、研修を行っていることは契約時に保護者様にお伝えしております。	今後も継続していきます
	46 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10		BCPの策定を行い、訓練を行っています。備蓄品などは定期的に見直し検討しています。	今後も継続していきます
	47 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	1	服薬や発作に関してはしっかりアセスメントを行い、利用開始までに職員間で共有しています。	今後も継続していきます
	48 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10		医師の指示書に基づく対応を行っています。アレルギーのあるお子さまについては別テーブルで食事提供しております。	今後も継続していきます
	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10		安全計画を作成し、研修時に職員全員でマニュアルの見直しを行っています。危険だと感じることがあれば随時マニュアルに追加をしています。	今後も継続していきます
	50 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	1	安全計画はホームページに掲載し、保護者様への周知を行っています。	今後も継続していきます
	51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10		用紙を目につきやすい場所に置き、ヒヤリハットを書く習慣づけをしています。集まったヒヤリハットについて会議の時に共有、検討し、再発防止につなげています。	今後も継続していきます
	52 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10		入職時と年に1度の虐待研修を行い虐待防止につとめています。	今後も継続していきます
	53 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10		説明、同意書へのご署名をしていただいたうえで、個別支援計画書への記載、ご利用日には身体拘束記録をつけております。	今後も継続していきます